

パノラマ写真作成

観光地や山に行ったときに目前に広がる広大な光景、一枚の写真には納まらない、パノラマ写真だったらな～、建物が大き過ぎて一枚に収まらない、上下9枚に写し貼り合わせようとしたけど繋ぎ目が合わない、繋いだ写真が扇形に-----。こんな経験ありませんか？ パソコンならこれを解決出来ます。PhotoFit feel と云うフリーソフトを使います。このソフトの作者は『全景写真生成ソフト』と云っていますが、ここでは判り易いようにパノラマ写真の言葉を使いました。全景写真の意味は使ってみれば分ります。

1. ソフトの入手とインストール

PhotoFit feelは[ここ](#)から入手。

デスクトップに保存 PfitFeelV1102.lzh が保存される

解凍ソフトでデスクトップに解凍 PFitFeel1102 フォルダが作成される

フォルダを開き Setup.exe をダブルクリック

PhotoFit feel インストーラーが立ち上がる

実行ボタンを押す

プログラムが ProgramFiles にインストールされ、デスクトップに PhotoFit

Feel アイコンが表示される

デスクトップに残った と は必用ないので削除する

* * 会場で入手する方は、配布するパノラマ写真のフォルダにも Setup.exe が入っていますのでこれを使って ProgramFiles にインストールしたほうが良いでしょう。尚、インストールしなくても PhotoFit は使用出来ますし、USB に入れたままでも使用可能です。

2. このソフトで何ができるかを見る

このフリーソフトはマニュアルとか練習素材が素晴らしく充実していますのでそれを見ていけば完全理解出来るようになっていきます。従って、この手順書ではどこをクリックするかだけを説明します。

パノラマ写真フォルダを開く

PFitFeelV1102 を開く

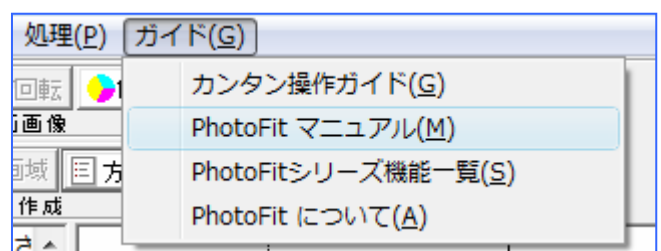
PhotoFitFeel.exe をダブルクリック(インストール済みの方はアイコンをダブルクリック)

PhotoFitFeel が起動する

ガイド[メニュー] PhotoFit マニュアル(M)をクリック

ここからはページをざっと眺めて下さい。文書を読む必要はありません。

1-4 まで。そのあとは専門的すぎて私にも分かりません。

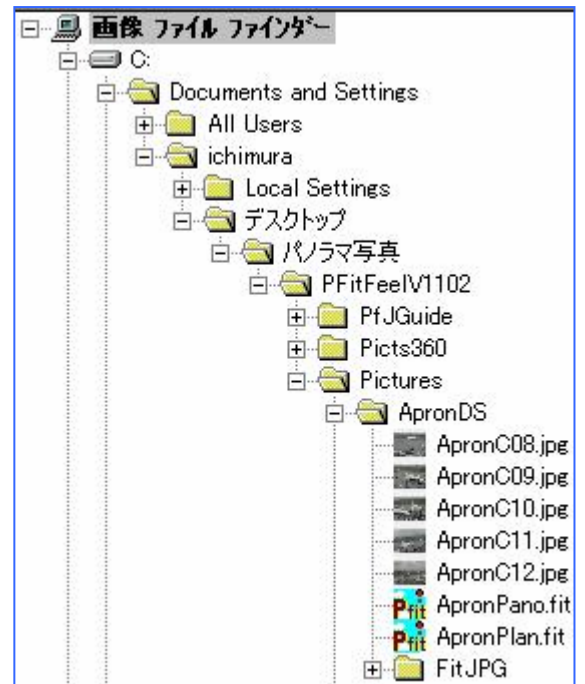


3. 作者準備素材を使って全景写真生成の練習をする

操作ガイドを見ていた場合は画面を閉じる
画像ファイル ファインダーに素材を表示する

- 1) 素材の入っているドライブの先頭のプラスをマイナスにする
- 2) プラザではCドライブ
- 3) Documents and Setting
- 4) Users (個人PCでは個人名)
- 5) デスクトップ
- 6) パノラマ写真
- 7) PFitFeelV1102
- 8) Pictures
- 9) ApronDS

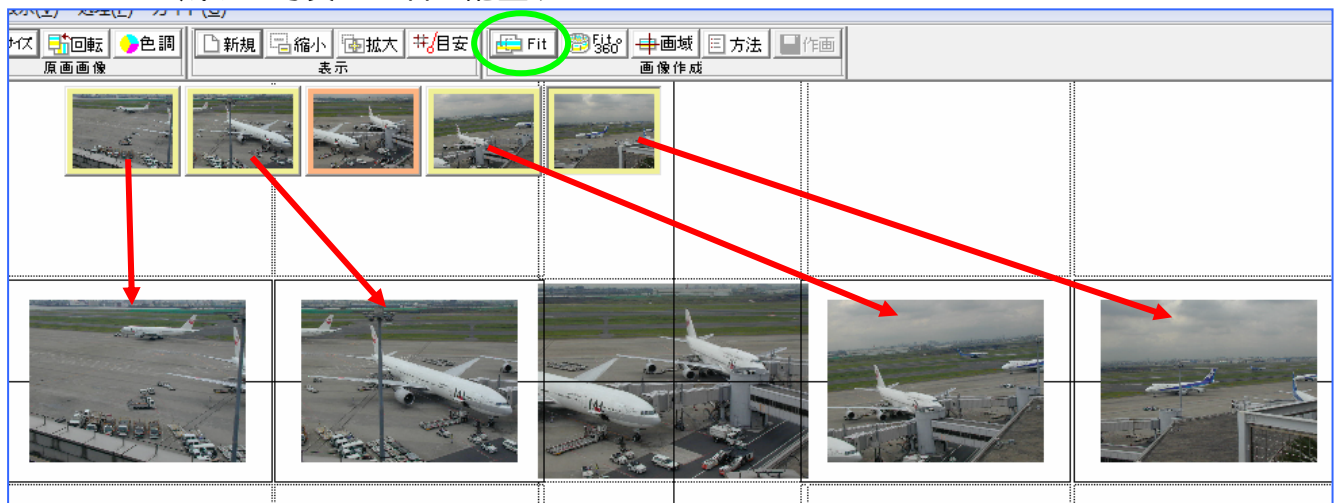
* インストール済みの場合は
ProgramFiles 中の PFitFeelV1102
を展開する
写真を右側にドロップする



基準になる写真を中央に配置（ドロップ）する



残りの写真を左右に配置する

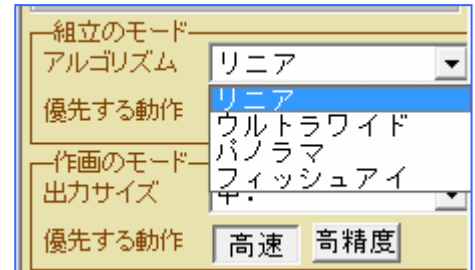


Fit ボタンをクリック（上図緑 位置）-----暫く待つ（画素数の大きなもの、写真枚数が大きい場合は結構時間がかかります）

Fit 完成図



右端下の「組立のモード」はパノラマになっていると思いますが、これをリニアに変えてみましょう。



リニア表示の場合

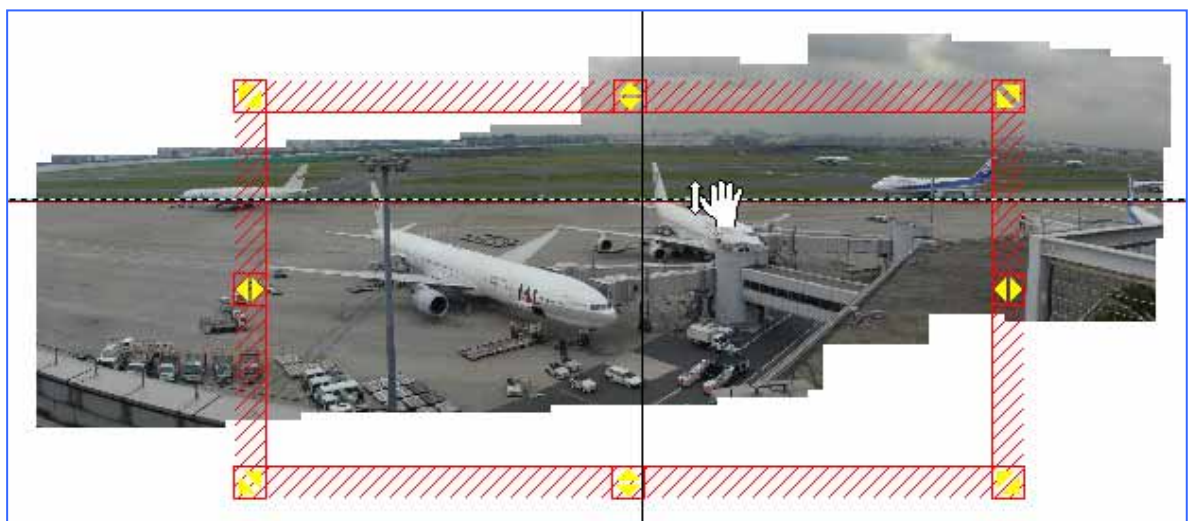


両完成図を比較してみると、パノラマでは滑走路が湾曲していますが左端の車両は正常な形をしています。リニアでは滑走路は真直ぐですが左端の車両は坂道にゆがんだ状態になっています。

パノラマ写真の基準位置を調整する

画域ボタンをクリックしてから、表示された水平線を上下にドラッグする

(今回の場合は下に-----滑走路が水平に見える感じに)



画域ボタンをクリックして表示枠を消す

調整完成図



自然な感じになったと思いませんか

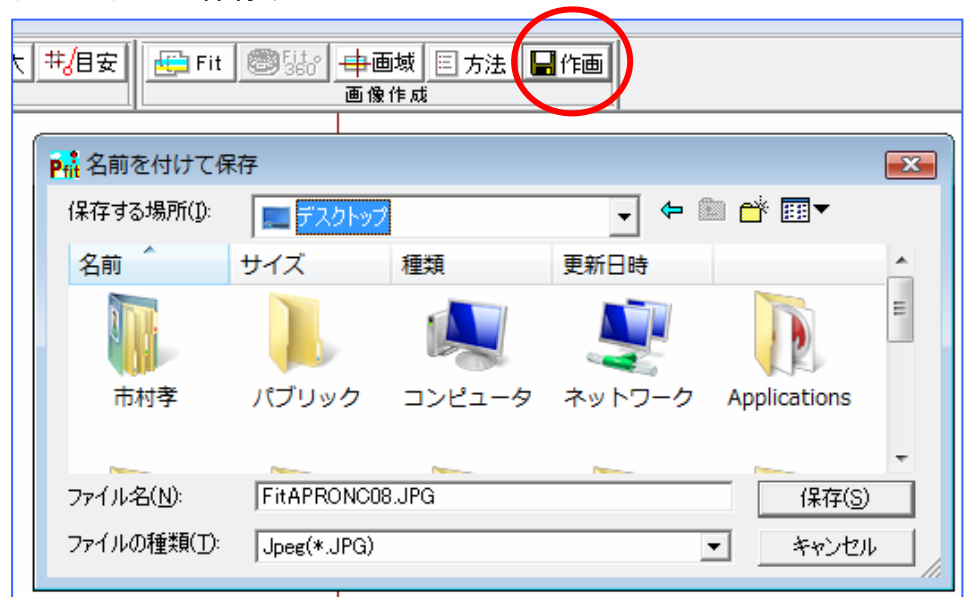
切り抜き

- 1) 画域ボタンをクリック
- 2) 表示された枠線の黄色矢印を切り取りたい位置へ狭めたり広げたりする



この写真の場合は左の白い部分が残ってまいりますね。これは良くありがちな事で、写真撮影するときに注意するか、左下部分をもう一枚撮影しておくことです。

作画ボタンをクリックして保存する



下記メッセージが出るがOKをクリック

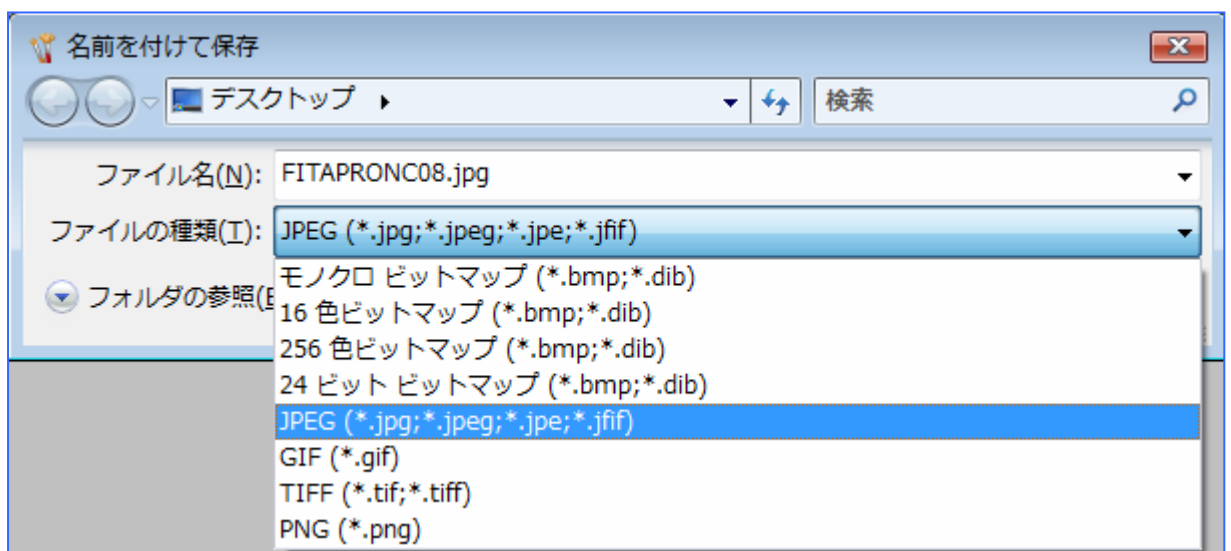


完成図



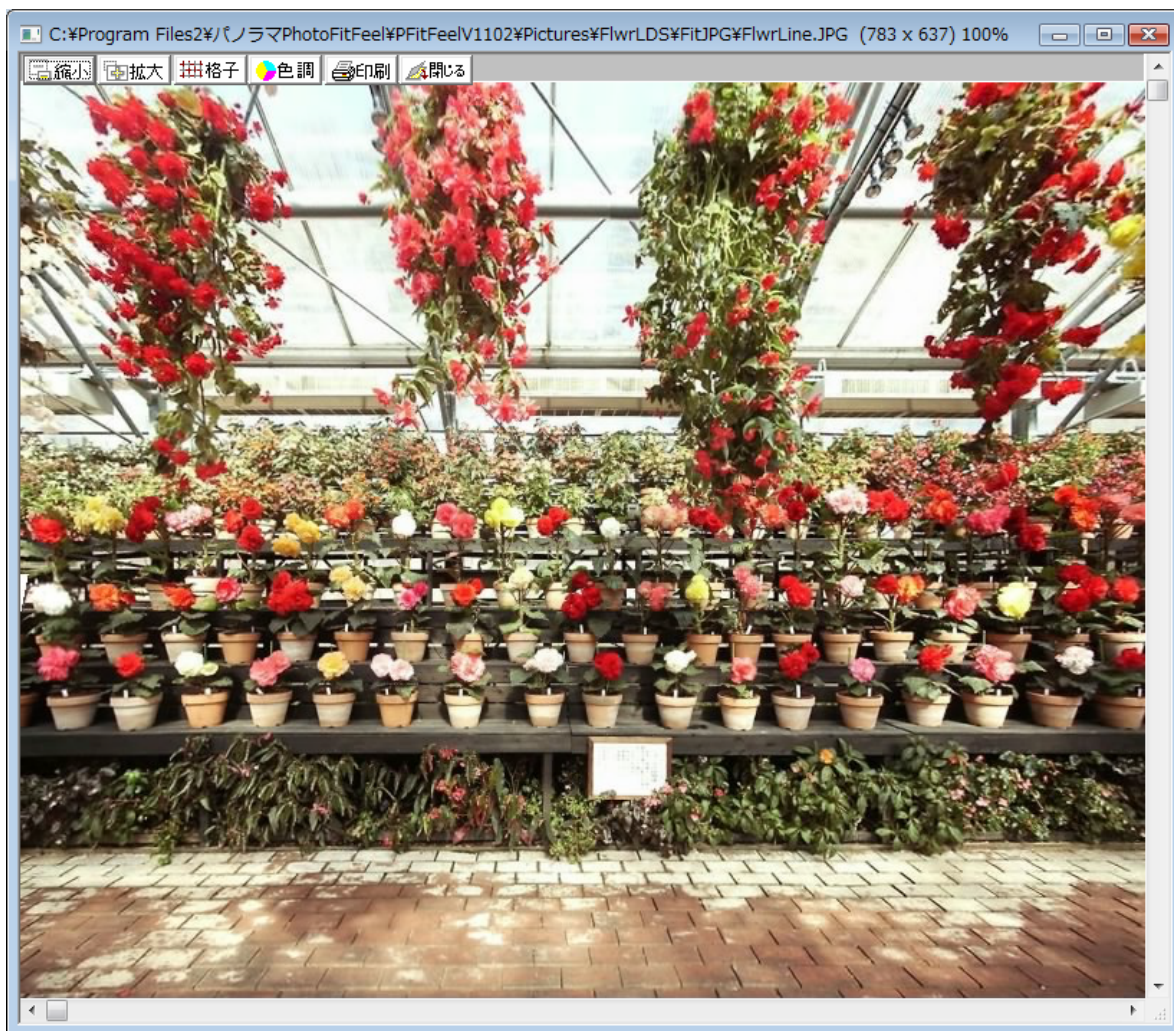
BMP を JPG に変換する

- 1) ペイントを起動
- 2) 完成図を開く (ドラッグしても良い)
- 3) ファイル[メニュー] 名前を付けて保存 ファイルの種類で jpg を選択
- 4) **保存**

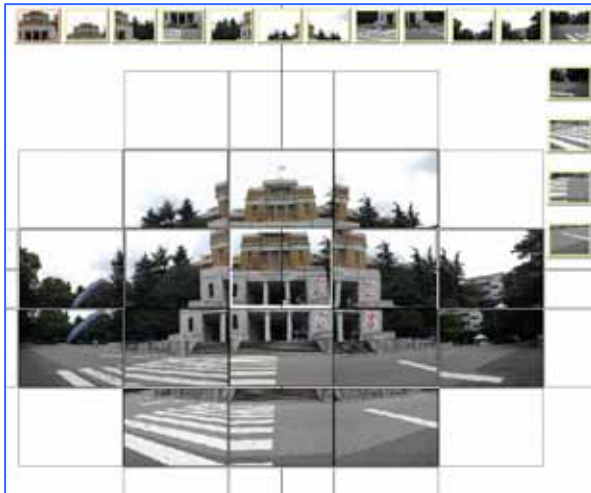


* 他の準備素材でもやってみましょう。やり方の考え方は一緒です。FlwrLDS が面白いですね。3列3段9枚の写真、この場合はリニアですね。

FlwrLDS の場合



MuseDS の場合



4 . 注意事項

トータル画素数が大きくなると最終合成が不完全になることがある。マニュアルでは 130 万画素となっているがこれを超えても処理出来ているので実際の限界不明（有料ソフトなら無制限）。

全景生成では 3 枚 × 3 枚が限界（サンプル MuseDL は 16 枚だが？）。有料ソフトなら 7 枚 × 20 枚。

生成された写真はとても大きなサイズになっている（繋いだのだから当たり前）。メールで送る場合は縮小すること。

縮小してから生成しようとするとう組み立て出来ない場合があるので、オリジナル画像は消さない注意が必要（縮小というのは例えば 10 個の点のある代表の 1 点に絞り 9 点を削除してしまうことなので、目視では同じように見えても点レベルでは異なるものと判断されてしまう）

パノラマプリントは 89mm × 254mm のようです。横幅を基準としてプリントしますから縦はその比率で小さくなり上下に余白のある仕上がりになります。